

本ばこ

一新刊教材・図書紹介

「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。誌面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生方にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っている则便利な図書・資料」などを取り上げます。

- ※データ凡例 1 著者 2 出版社 3 刊行年月 4 ISBN 5 判型・ページ数 6 定価 7 その他

歌や音楽を楽しみながら日本語を学ぶ

『日本語で歌おう!』



データ

1 吉田千寿子 2 アスク (〒162-8558 東京都新宿区下宮比町2-6) TEL.03-3267-6866 FAX.03-3267-4471 URL. http://www.ask-digital.co.jp/ 3 2006年3月 4 4-87217-600-6 5 A5判 112ページ 6 2,520円 7 CD2枚付

なるように作られており、学習者はまねして歌えば、発音もいっしょに学べます。
 ②リズムに乗って重要なことばをリピートしたり、ほかのことばに言い換えたりする練習ができます。
 ③すでに習った語彙や文型をたくさん使って作詞しているので、新しい学習テーマが無理なく学べます。
 ④普通にポップスを楽しむような感覚で、何度でも聴けます。
 ⑤場面や登場人物の気持ちなどを想像しながら、話ができます。

ともできるでしょう。
 歌詞の漢字に振り仮名がついています。また、歌詞の中に出てくる普段あまり使われていない難しいことばや表現については、解説があります。さらに、歌を作った人や作った経緯などについて、簡単な紹介もあります。

「上を向いて歩こう」涙がこぼれないようにこの歌をご存知でしょうか。日本の有名な歌『上を向いて歩こう』です。今回はこのような日本の有名な歌や日本語学習のためにオリジナルにつくられた歌などを通じて、日本語の勉強ができる教材を紹介します。

本教材は初心者向けのもので、PART 1とPART 2の二つの部分で構成されています。

▽オリジナルの歌で日本語を勉強しよう

PART 1は1課から16課まであります。初級で学ぶ重要な文法や文型、「数え方」「擬音語・擬態語」「動詞のて形」「動詞のない形」「自動詞・他動詞&カタカナ語」「可能形」「受身形」「やりもらい」「敬語」などを使った覚えやすい歌詞で歌が作られており、学習者は歌を楽しみながら日本語が学べるように工夫されています。

各課の構成は「発声練習」「聞きましょう」「歌いましょう」「ことば表現」「歌詞から学びましょう」「確認しましょう」「話しましょう」の順になっており、日本語学習と歌が一本化された新しいスタイルの日本語教材といえます。

PART 1の作成には次のような配慮がなされています。

①メロディー・ラインと話すときのアクセントやイントネーションとが、できるだけ同じに

▽日本の有名な歌で日本語を理解しよう

PART 2には日本で人気があるポップス、唱歌、童謡、アニメの主題曲などから、流行したときにオリジナル曲を歌っていた歌手のもの、15曲がそのまま収録されています。

『上を向いて歩こう』『心の旅』『卒業写真』『今ほうだれも』『花』『明日があるさ』『ふるさと』『春が来た』『浜辺の歌』『もみじ』『雪』『仰げば尊し』『赤とんぼ』『手のひらを太陽に』『サザエさん』

これらの歌を通して日本語の勉強だけではなく、目に本人に共通する心情を感じ取ったり、その時代の人々との様子を理解したりするこ

曲名	原曲	作詞	作曲	編曲	歌手	収録	備考
1	上を向いて歩こう	12	岡譲二	岡譲二	原節子	収録	※
2	ふるさと	15	宮城野郎	宮城野郎	原節子	収録	※
3	春が来た	19	宮城野郎	宮城野郎	原節子	収録	※
4	花	20	宮城野郎	宮城野郎	原節子	収録	※
5	明日があるさ	27	宮城野郎	宮城野郎	原節子	収録	※
6	心の旅	21	宮城野郎	宮城野郎	原節子	収録	※
7	卒業写真	26	宮城野郎	宮城野郎	原節子	収録	※
8	赤とんぼ	26	宮城野郎	宮城野郎	原節子	収録	※
9	浜辺の歌	43	宮城野郎	宮城野郎	原節子	収録	※
10	もみじ	41	宮城野郎	宮城野郎	原節子	収録	※
11	雪	47	宮城野郎	宮城野郎	原節子	収録	※
12	仰げば尊し	50	宮城野郎	宮城野郎	原節子	収録	※
13	サザエさん	59	宮城野郎	宮城野郎	原節子	収録	※
14	手のひらを太陽に	63	宮城野郎	宮城野郎	原節子	収録	※
15	花	67	宮城野郎	宮城野郎	原節子	収録	※
16	ふるさと	71	宮城野郎	宮城野郎	原節子	収録	※

P. 4

P. 5

曲名	原曲	作詞	作曲	編曲	歌手	収録	備考
17	もみじ	41	宮城野郎	宮城野郎	原節子	収録	※

P. 98

P. 99

生き生きとした会話で学ぶ

『聞いて覚える話し方 日本語生中継・初中級編1』

データ

1 ボイクマン 綾子、宮谷 敦美、小室 リー 郁子 2
くろしお出版 (〒112-0002 東京都文京区小石
川 3-16-5) TEL.03-5684-3389 FAX.03-5684-
4762 URL: http://www.9640.jp 3 2006年3月
4 4-87424-339-8 5 B5判 152ページ 6 1,890
円 7 CD2枚、スクリプト付

この教材は、既刊の『日本語生中継 中～上級編』の姉妹編で、初級の文法項目を学習した人(3級レベル以上)を対象に、日常生活場面での「聞く力」と「話す力」をつけることを目指しています。「初級の文法を勉強したのに使えない」「自然な日本語を話したい」などと思っている学習者が、生き生きとした自然な会話を学べるように作られています。具体的な目標としては、①人間関係に応じた表現

の選択が意識できるようになる②場面に応じた表現の使い方を習得できる③トピックに関連した語彙が増える、の3点が挙げられています。全体は、トピックと機能シラバスで構成されています。例としては、「レストラン：相手の間違いを指摘する」「買い物：人に何かを勧め/勧めを断る」「貸してもらおうように頼む/貸すのを断る」「(理由を説明して) 予定の変更を頼む」「マンション：苦情を言う/規則を説明する」などがあります。

各課の構成と内容は以下の通りです。
①ウォーミングアップ：語彙の確認
②聞き取り練習：人間関係、状況、内容による

って異なる表現の理解
③ディクテーション：表現の正確な聞き取り
④ポイントリスト
⑤重要表現：重要表現の提示と練習
⑥もういっぺい!?: トピックに関連した語彙の拡張や重要表現の確認
⑦ロールプレイ：会話能力の養成
この教材は、クラスでも、一人で学習する場合でも使えます。本冊のほかに、CDと振り仮名付きのスクリプト、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語の訳がついた単語リストがあります。



P. 24



P. 25



P. 28



P. 29

学習者がともに学び合う、そんなクラスを作るために

『先生のためのアイディアブック 協同学習の基本原則とテクニック』

データ

1 ジョージ・ジェイコブズ、マイケル・パワー、
ロー・ワン・イン 著、関田一彦 監訳 2 ナカ
ニシヤ出版 (〒606-8161 京都市左京区一乗寺
木ノ本町15番地) TEL.075-723-0111 FAX.075-
723-0095 URL: http://www.nakanishiya.co.jp/
3 2005年11月 4 4-7795-0023-0 5 B5判 198
ページ 6 2,100円

「協同学習」、最近よく聞かれる言葉ですが、どんな学習なのでしょう。この本は、「協同学習」を「生徒がさらに効果的にいっしょに勉強するのを手助けするための原理と技法」と定義しています。そして、「協同学習」についていろいろな悩みを持っている先生に対して、教室で「協同学習」を進めるための基本原則と具体的なテクニックを紹介しています。

この本は、二部構成になっています。第一部では、協同学習の価値、グループ作りの原則、

学習者間の互恵的な関係作り、グループ活動における個人の責任、学習者間の相互作用の大切さ、協同学習における学習者と教師の役割、グループの自律性を育てるための方法、協同学習の評価など、「協同学習」を行うに当たって大切になる原則について、具体的な活動を参照しながらわかりやすく説明しています。

第二部では、「協同学習」を実践する上でさまざまな質問・疑問をとりあげ、丁寧に解説しています。例えば、グループ活動では学ぶことができないと思っている生徒をどのように励ませばいいか、課題やグループ活動をちゃんとしないグループにどう対処すればいいか、大人の数のクラスでどのように協同学習を使えるか、他のメンバーとうまくいかない生徒にどう対応すればいいかというような「協同学習」をどう準備し運営・実践していくかについて、多くの教師が感じている疑問に丁寧に答えています。また、同僚や上司の理解と協力を得るためには

どうすればいいかという質問をとり上げていることも、この本のユニークな魅力の一つです。幼稚園から大学、成人教育にいたるすべてのレベルの教師、すべての教科の教師に有用な示唆を与えられる本だと言えるでしょう。



第1部トピク

順を追って書く力を育てる

『大学で学ぶための日本語ライティング 短文からレポート作成まで』

データ

1佐々木瑞枝、細井和代、藤尾喜代子 2ジヤパンタイムズ (〒108-0023 東京都港区芝浦4-5-4) TEL.03-3453-2013 FAX.03-3453-8023 URL: http://bookclub.japantimes.co.jp/ 32006年3月 44-7890-1221-2 5B5判 96ページ 61,890円

中級以上になると、論理的な文章を書けるようになりたいと考える学習者が多くなるでしょう。この教材は、レポートなど、構成がしっかりとした、まとまった長さの文章を書くことが難しい学習者のためのものです。この本の構成は、次のようになっています。レベル1：短文や段落を作る練習をします。アンケートや説明・意見の文章を取り上げています。レベル2：文章を作る練習をします。報告、意見、自己紹介などの文章を取り上げています。レベル3：レポートを書く練習をします。資料の分析と引用のための表現をとりあげています。このように、短文の練習から始めて、

資料の分析や引用をしたレポートを書く練習にまでつながっています。各レベルとも、短い文・文章の中で表現を使ってみる練習と、具体的に文章を書いてみる実践課題からなっています。レベル1とレベル2には、実際場面への応用になる課題も加わっています。例えば、テーマを決めて実際にアンケートを作ったり、体験したことについて報告したりする課題です。

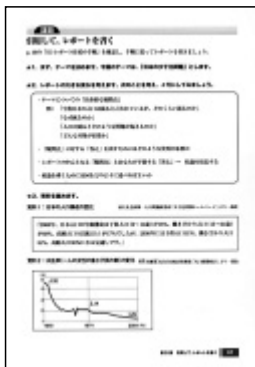
この本の特徴は、学習者が実際にテキストに書き込むスペースがたくさんあるということです。練習問題は、絵や資料を見て文章を完成させるタイプのものが多く、一人で書くことが難

しい学習者にも取り組みやすくなっています。また、各章の最後にある課題も、表や構成案を埋めていけば、目標とする文章や、その骨組みが書き上げられるようになっています。

「学習者にどのような枠組みや資料を提供すれば文章を書く練習がしやすくなるか」という目でこの教材を観察すると、文章作成のための授業を組み立てるヒントも得られるでしょう。



P.64



P.67



P.70



P.71

自分の教え方をふり返り、「読む」活動の目的や具体的な練習方法を考える

『国際交流基金 日本語教授法シリーズ7 読むことを教える』

データ

1国際交流基金 2ひつじ書房 (〒112-0002 東京都文京区小石川5-21-5) TEL. 03-5684-6871 FAX. 03-5684-6872 URL: http://www.hituzi.co.jp/ 32006年6月 44-89476-307-9 5B5判 82ページ 6735円

この本は、『国際交流基金日本語教授法シリーズ』全14巻のうちの1冊で、読むことの教え方について書かれたものです。

このシリーズは、国際交流基金日本語国際センターで行われている海外日本語教師研修を担当している講師陣が実際の研修の経験をもとに執筆しました。教授法に関する必須な知識を得るだけでなく、自分自身の教え方をふり返り、新しい知識がどう活かせるか自分で考えることを目的としています。

この本は現在日本語教師をしている方を主な対象としていますが、教師経験のまだ浅い方や、日本語教授法の勉強を全くしたことがない方にも理解していただ

ける内容になっています。またノンネイティブの日本語教師にも配慮し、原則として日本語能力試験2級以上のレベルの漢字に振り仮名が付られ、平易な文章で書かれています。

この本の構成は、まず「読むこと」とは何か、そのメカニズムについて自らの体験をふり返りながら考えるところから始まります。次に「読む力」をつけるための活動を、市販の読解教材の具体的な活動やタスクを分析しながら考えます。さらに「読み」を中心とした授業の計画を考えます。日常の「読み」と同じような状況を作るにはどうすれば良いのか、初級の「読み」、

中級の「読み」の活動はどう考えればよいのか、そしてほかの技能と合わせた「読み」の活動にはどのようなものがあるのか、質問に答えたり、課題を解決したりしながら、自らの力で発見し、考えられるようになっています。

独習にも利用できますが、現職の教師同士との勉強会、教授法の授業などで、仲間と話し合いながら使うことで、より効果的な利用ができます。



P.12



P.13



P.28



P.29

P.11 ~ 13 は国際交流基金の以下の日本語専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

王 崇梁、向井園子、木谷直之、長坂水晶、久保田美子 (執筆順)